

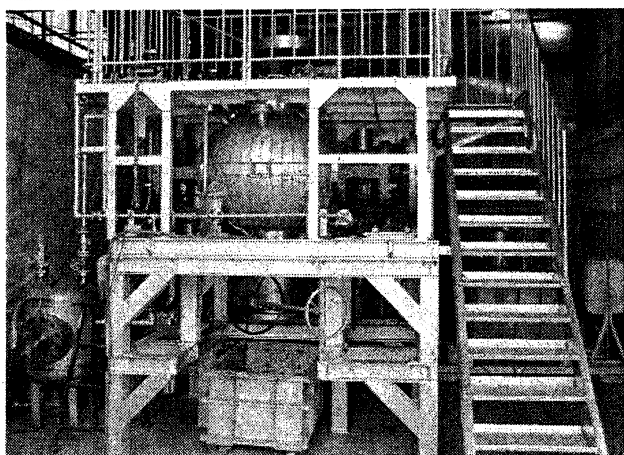
鶏ふんやカキ殻 高圧・電解処理

イープラン、堆肥に再生

産業用プラント製造のイープラン（広島県福山市）は鶏ふんやカキ殻、離島のし尿など様々な廃棄物を高圧・電解処理して堆肥などにする装置を開発した。農畜水産系廃棄物が堆肥や液肥に生まれ変わるほか、従来の微生物処理では分解できなかったビニールや食品ト

レーにも対応する。初年度100台の販売を目指し、全国の産廃業者や養鶏業者などに売り込む。開発したのは「EXプラント」。廃棄物を投入し、圧力容器の中でセ氏230度以下・27気圧以下の高温高圧水蒸気と反応させて加水分解する。このとき産出される生成

物は、投入した廃棄物がアミノ酸が多い農水畜産物の場合は堆肥や液肥として、炭素が多いプラスチック容器などの場合は高力ロリー燃料として、使えるという。農水省の推計によると鶏ふんの年間排出量は約1260万ト。「処理代が1ト3万円と高額なケ



イープランが開発した廃棄物の高圧・電解処理機

ースもあり、単に乾燥させて肥料にすることが多いが臭くて使いにくい」間、ランニングコストは（垣本明孝社長）。EX約4千円という。

プラントで完全分解すると臭いも無くなり、病原菌も死滅するとい
う。
容量が1
〜5立方
の5タイプ
あり、標準
の3立方